

成恵 HOSPITAL SPOT

2023 夏 第94号

ご挨拶

専門性の高い医療を
提供できることを目指して
当院に何ができるのか？



埼玉成恵会病院

専門性の高い医療を 提供できることを目指して 当院に何ができるのか？

当広報誌を含め、さまざまな場所に影響を与えた新型コロナウイルス。感染症分類が5類に引き下がった後も、まだまだその脅威は衰えていないと感じます。当院を含めた医療業界にもその影響は膨大なもので、多種多様な業界にいろんな形で影響を与えています。

そんな中当院でも感染症対策に追われる日々でした。しかし、感染症を発症してしまった方を優先して診療を行えばよいのかと言えばそのようなことはなく、日常生活に支障があるにもかかわらず、「感染するから」と躊躇^{ためら}ってしまい、症状が重くなってしまった方が多くいらっしゃいます。

ここ最近症状が進行しすぎて、診察時にはお薬やりハビリでの経過観

察では済まされない状態で受診される方が増えてきました。そんな方のためにも、当院では感染症対策を引き続き十分に行いつつ、専門性の高い診療を行い続けています。

整形外科では「脊椎外科センター」が年間約200件の手術を受け持たせていただき、「関節外科センター」では股関節、膝関節、肩関節、足関節、手関節、肘関節などの関節を専門とする医師が診療を行います。

さらに外科では虎の門病院と連携した「消化器外科センター」があり、今後もより専門性の高い医療を皆様に提供できるように努めてまいります。

なお、院内からのお知らせなどは広報誌やホームページより最新の情報をお届けするようにいたします。



埼玉成恵会病院 生活習慣病講習会

第8回

令和4年6月29日の診療後に職員を限定とした「第八回埼玉成恵会病院生活習慣病講習会」を感染対策を万全に行っていました。同時に当院としては初となるWEB配信も行い、ハイブリッド開催となりました。

当日は、医療法人安和会 石丸安世記念 熊谷ディアベテスクリニック院長の石丸安明先生に「糖尿病専門クリニックの果たす役割〜食後血糖制御と体重調整について〜」という題目でご講演をいただき、獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科の主任教授である橋本貢士先生には「COVID19パンデミックにおける最新の糖尿病診療」のご講演をいただきました。

生活習慣病の代表格ともいわれ、多くの方がこの糖尿病の治療をされています。講演では糖尿病治療を行うにあたり、患者さんにどのように説明すべきか、患者さん目線での考え方と医療者目線での考え方を丁寧にお話しされ、COVID19では、重症化率が高い、糖尿病にどのように向き合い、治療を行うべきか職員向けにご講演をいただきました。

当院でも近医、専門医との連携のもと診療を提供できるように体制づくりに努めています。



橋本貢士先生



石丸安明先生

院内活動報告

「成恵会病院救急症例検討会」が当院職員ならびに比企消防本部の救急救命士参加の下で行われました。

当院や比企消防本部より実際に対応した症例報告を行い、どの発表でも救急車に乗車する隊員と医療機関の連携を迅速に行う連携づくりの大切さが重要なことを共通認識として確認いたしました。

実施されて数年が経過しましたが、救急隊員が現場に到着次第にタブレット端末等を用いて現場の状況を即座に医療機関へ転送するシステム構築の利便性や改善点をあげ、当院へ搬送された場合の連携についても活発に討論されました。当日、特別講演として獨協医科大学病院心臓・血管内科／循環器内科教授・診療部長の豊田茂先生に「最新の心不全治療と循環器地域連携〜栃木県の現状を踏まえて〜」の内容で講演をしていただきました。

ドクターヘリやドクターカーと呼ばれる設備や機器が整う今日ですが、現在の先端救急医療の在り方を説明された後に、現場に到着する人員の判断力や医療機関につなげるまでの搬送の大切さを改めて教えていただきました。



豊田茂先生

第21回

埼玉成恵会病院 救急症例検討会

こんなお困りの症状はありませんか？

脊椎外科編

サトシさん(41歳)のケース

「仕事があるので
なかなか受診できない」

症状 腰痛、
お尻や足にも痛み・しびれ



今回の担当医
長谷川岳弘医師

運送会社で働くサトシさん(仮名)。毎日、重量物を持つことが多い仕事をしています。以前より腰痛がありましたが、痛みがあるときは市販薬の痛み止めを内服すれば軽快していましたので、痛みに対しては「薬を飲めばいいや」という程度に軽く考えていました。しかしある日、お尻(臀部)から足(下肢)にかけて痛みが発生し、しびれもありました。これまでと同じように痛み止め薬を飲みましたが、症状は治まりません。「これはいつもと何かが違うぞ…」と感じましたが、仕事を優先。医療機関を受診しないまま、1カ月が経ちました。



① 市販薬でよくなるから…

腰痛が出るたびに、
市販の鎮痛薬を服用

お尻から足にかけての
痛みとしびれが出現

症状が続くが、
仕事を優先して市販薬で対応

サトシさんの痛み止め薬服用回数が増え、さすがに心配になって、自宅近くの診療所を受診しました。そこで医師に言われたのは、「専門的な治療を受けられる医療機関へ行ってください」。しかし仕事を休みづらく、処方された薬を飲み症状を我慢しながら仕事を続けました。それから2カ月。痛み止め薬の服用は、すっかり常態化していました。仕事が休みのある土曜日に、処方薬を飲み切っていたことに気づき、診療所で言われていたことを思い出しました。土曜日も一般診療を行っていない専門医療機関を探し、紹介状無しでも受診できる当院を見つけ、受診しました。



② 市販薬だけでは…専門病院へ もう限界

症状出現から1カ月、
市販薬服用回数が増える

自宅近くの診療所で、
専門医への受診を勧められる

2カ月が経過した土曜日、
埼玉成恵会病院を受診

③ 手術をするなんてちょっと怖い

脊椎専門医を受診、
まず内服薬で様子を見る

MRI 検査で腰椎間の
狭窄が判明

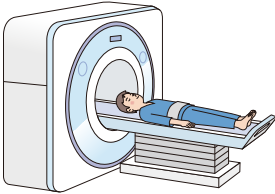
手術するか、しないかの選択。
仕事は？家族は？

診察にあたったのは、院長で脊椎専門医の長谷川岳弘医師。

腰痛、臀部痛、大腿後面と下肢後面のしびれがあるため、X線（レントゲン）検査を行ったところ、第4腰椎、第5腰椎で安定性を保てなくなっており（不安定性）、椎弓が一部飛び出していました（後方開大）。

まず内服薬服用で様子を見つつ、2週間後にMRI検査を実施。第4腰椎、第5腰椎間が狭くなって圧迫されており（狭窄）、これが症状の原因であると判断されました。診断名は「腰部脊柱管狭窄症」。

長谷川医師から即日の手術も提案されましたが、サトシさんの希望で、職場と家族に相談して決めることにしました。



④ もっと早く相談に来ればよかった!

手術を決断。「拡大開窓術」で
神経の圧迫を解除

症状が軽快、
術後は4日目に退院

リハビリや再発予防に努めながら、
10日後には仕事にも復帰

よく考えた末、サトシさんは手術を決意して、1週間後に再度当院を受診。その翌週には、神経の圧迫を除く目的で「拡大開窓術」という手術を受けました。

手術は2時間ほどで終了して、術後4日目に退院。入院は合計6日間でした。

痛みはまだ少し残るものの、退院から10日後には仕事にも復帰しました。

サトシさん「先生から、あのまま放置していたら足が麻痺して歩けなくなつたかもしれないと言われました。手術と聞いて怖さやためらいもありましたが、もっと早くこちらに相談に来ればよかったです！きちんと治すにはあと数カ月かかるそうなので、リハビリや再発予防に努めます」



サトシさんと同じような症状でお困りの方や、もし近くにそういった方がいらっしゃいましたら、お気軽に当院へご相談ください。

注) このケースは、当院を受診される患者さんによくみられる一例をご紹介します。一部フィクションではありますが、ご参考になれば幸いです。

埼玉成恵会病院 脊椎外科センターのご案内

脊椎外科センターでは、熟練した専門医たちが幅広く脊椎疾患の治療を行っています。1年間の脊椎外科手術件数は200件を超え、当地区のみならず近隣地域からの紹介で来院される患者さんもいらっしゃいます。また手術療法だけでなく、最新の薬物療法やブロック療法など、患者さんの体に負担の少ない治療法にも力を入れています。



当院は、紹介状なしでの受診も可能です。また土曜日にも一般診療を行っていますので、平日は仕事で忙しいという方にも受診していただけます。

- 主な対応疾患** 腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎変性すべり症、腰椎分離すべり症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症脊髄症、後縦靱帯骨化症、黄靱帯骨化症、脊髄腫瘍、脊椎圧迫骨折、脊椎外傷
- 担当医師** 長谷川岳弘 ▶ 脊椎外科センター長 / 埼玉成恵会病院理事長・院長 / 日本脊椎脊髄学会指導医
小林 憶人 ▶ 整形外科部長
平林 茂 ▶ 元帝京大学整形外科教授 / 日本脊椎脊髄病学会指導医

ホームページを リニューアル しました

新型コロナウイルス感染症対策の接触感染の一環として、コロナ禍において広報誌を配布できない現状をふまえ、ホームページの全面リニューアルを行いました。以前のホームページより過去の情報を集約し、最新の情報と煩雑にならないように心がけております。ぜひご覧ください。



院内感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は感染分類が5類に移行され3年前の生活に戻す取り組みが多方面で行われております。**当院では感染対策を継続しマスク着用、手指消毒、検温をお願いいたします。**

また、病棟への面会に関しましても、感染症対策として禁止の措置を継続させていただきます。

今後、緩和等を段階的に行っていく予定です。最新の情報はホームページなどでお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。



埼玉成恵会病院 健康管理センターのご紹介

診断や治療の精度と技術が発展を遂げている時代だからこそ、“早期発見と早期治療”が非常に大切です。そのためにも定期的健康診断、“人間ドック”は必要不可欠になっています。当院ではニーズにあわせた健診プランのご提供をいたします。

人間ドックメニュー

- 日帰りドック
- 一泊ドック
- 脳ドック

オプションメニュー （予約制）

- 胃部内視鏡検査
- 脳ドック／頭部CT／頭部MRI・MRA
- 胸部CT検査／腹部CT検査
- 頸動脈超音波検査
- 婦人科項目
- 各種腫瘍マーカー検査(当日申し込み)
- ロックス・インデックス(LI)
- アミノインデックスがんリスク(AICS)

お申し込み方法 （完全予約制）

電話または健診センター窓口にて
予約の申し込み

希望コースの選択

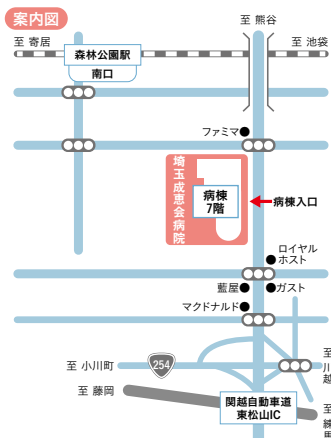
検査予約日の決定

※後日、ご案内を郵送いたします。 ※ご都合によりキャンセルまたは変更される場合は、お早めにご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先

医療法人埼玉成恵会病院
健康管理センター

TEL:0493-23-0277 (8時30分～17時)



埼玉成恵会病院

交通 電車 東武東上線 「森林公園駅」下車徒歩6～7分
※池袋駅から森林公園駅まで約1時間

自動車 関越自動車道 東松山インターより3分

〒355-0072 埼玉県東松山市石橋1721

TEL:0493-23-1221

ホームページ:seikei.or.jp



成恵会

検索